

トピック

《特集》

いわて希望塾

《お知らせ》

青少年なやみ相談室

情報メディア「出前」講座



青少年 いわて

2016
01

「いわて希望塾」 沿岸地域で開催！



平成27年11月21日(土)～23日(月)の2泊3日、県内各地から133名の中学生、活動をサポートする青年サポーター18名が集まり、市町村を越えた交流活動として平成27年度「いわて希望塾」を開催しました。

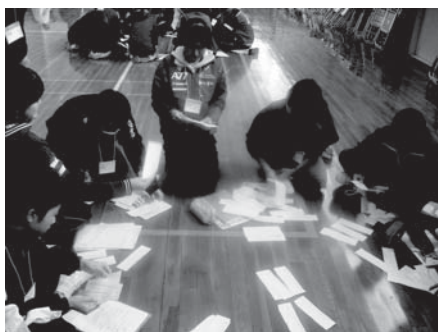
震災からの「復興」が進む沿岸地域において、実際に避難道を歩き被災状況や復興の様子を見るとともに語り部ガイドから震災の実体験を直接聞いたことは、参加者にとって貴重な経験となりました。また、「復興」について事前に「地域の声」を集めてきたほか、自分の地域について調べたこと等を持ち寄ってグループワークを行い、最終日には岩手の「復興」や地域づくりについて『未来への宣言・メッセージ』として発表しました。



語り部ガイドによる震災学習の風景



塾長(知事)との対話



グループディスカッション



グループ別発表



現地での震災学習

毎月第3日曜日は **いわて家庭の日**

**岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として
「いわて家庭の日」を主唱しています。**

推進協力：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部



平成 27 年度「いわて希望塾」実施概要

☆目的

震災からの「復興」が進む沿岸地域において、体験的活動や市町村の枠を越えた交流活動、「復興」についての学びを行うことにより、震災を風化させることなく、積極的に岩手の「復興」や地域づくりを担おうとする、心豊かで意欲に満ちた人材を育成することを目的とする。

☆期 日

平成 27 年 11 月 21 日 (土) ～ 23 日 (月) 2 泊 3 日

☆会 場

- (1) 岩手県沿岸地域 (釜石市・大槌町・宮古市)
- (2) 岩手県立陸中海岸青少年の家

☆参加者

- (1) 塾 生 県内各地中学生 133 名
- (2) 支援者 青年サポーター 18 名 (地域で活躍する青年)

主な内容・日程

1日目 11月21日 (土)

コース別学習 (釜石市・大槌町・宮古市)
オリエンテーション
アイスブレイキング
サロン「未来へのヒント部屋」

2日目 11月22日 (日)

グループディスカッション①
全体写真撮影
講話「塾長からのメッセージ」
塾長：岩手県知事 達増 拓也
塾長との対話
グループディスカッション②
ワークショップ「自分たちにできることを考える」
講師：八重樫綾子氏・篠原辰二氏
講演「私たちにできること」
講師：アンダーパスさん
サロン / 作業グループタイム

3日目 11月23日 (月)

未来への宣言 (全体発表)
ふりかえり

1日目 11月21日 (土)

13:00 コース別学習

釜石

釜石駅～市街地避難道路 (説明) ～
唐丹地区測量之碑・星座石

大槌

復興資料館 (市街地の模型を使った学習、展示物)
～旧大槌町役場～町方地区～蓬莱島

宮古

田老駅～防潮堤 (説明) ～避難道路・石碑～
DVD 鑑賞～たろう観光ホテル～三王岩

16:30 開 会 オリエンテーション

講師・青年サポーター紹介、施設利用等説明

17:00 アイスブレイキング

緊張をときほぐすためのゲームや運動など

選んでコーナー ▶ 進化!?じゃんけん ▶ 希望塾すごろく 2015



19:30 サロン 「未来へのヒント部屋」

青年サポーターが用意した「テーマ」や塾生が考えた「テーマ」に分かれて「しゃべり場」"ともに考える時間"
※テーマ例「部活動」、「恋愛」、「地元について」、「人生いろいろ相談」などなど



2日目 11月22日(日)

一人ひとりが抱く
地域への想いを集めて、
みんなでオモイを
カタチに・・・



8:45

グループ
ディスカッション

総合コーディネーターの八重樫綾子氏、篠原辰二氏によるワークショップ

自分達が調べてきた事前課題（地域の人 10 人の希望する岩手）を持ち寄って自分達の考えを話し合う



篠原辰二氏

八重樫綾子氏

13:00

写真撮影

13:10

講話「塾長からのメッセージ」
塾長との対話

「いわての本格復興」

塾長：岩手県知事 達増 拓也

- 1 復興計画と復興の現状について
- 2 「復興」と「ふるさと振興」
- 3 岩手の青少年に期待すること



14:40

グループ
ディスカッション

調べてきたこと、話し合ったことを、「未来への宣言・メッセージ」として自分達が望む地域の将来の姿を模造紙にまとめる作業



16:30

講演
「私たちにできること」

「岩手にいるからこそかける歌」を
キーワードに、生まれ育った岩手
や等身大の気持ちを歌っています♪



講話と演奏：アンダーパスさん

19:30

サロン / 作業
グループタイム

グループディスカッション
の成果品の手直しなど

3日目 11月23日(月・祝)

9:00

未来への宣言
(全体発表)

2 日間で作った「未来への宣言・メッセージ」
(ポスター) をギャラリーウォーク形式で発表。

班員の半分が説明、残りの班員が見て回り、自分の班以外に 1 ポスターにつき 1 人 1 票シールを張る



未来についての熱い
希望と提言

10:30

ふりかえり

ふりかえりシート、アンケートの記入、修了証配布

12:30

閉 会



青年サポーターのみなさん



寄稿



地域のおじさん、おばさんの出番

ガールスカウト岩手県連盟
連盟長 平井 ふみ子

昨年12月に滝沢市内の小学校で「昔の暮らし」という授業の手伝いをしてきた。メンバーは60代から80代までの8人である。

私は洗濯板と針箱を持参した。児童の前で運針をして、「やってみたい人は？」と言うと男女共に手が挙がった。運針という言葉は死語に近い。それだけ針を手にして縫い物をする事が生活の中から消えつつある事を示している。児童達は私の手の動きを真似て必死である。中に針の運び方の上手な女子児童がいた。声をかけると「おばあちゃんと一緒に針を持つ」。小学三年生の児童と祖母が針を持っている情景を思い浮かべて、日本の文化が家庭の中に息づいている事を嬉しく思った。授業を終えて8人それぞれの報告を聞きあった。奥州市に住むTさんは「昔の遊び」について話をしたという。そして児童達に「みんなで遊べる遊び、ゲーム機を使わない遊びを考えて欲しい」と提案したところ、沢山の遊びを考えてくれたというのだ。児童達の考えた様々な遊びを紹介されて一同感嘆したのである。そして元新聞記者だったTさんが、児童達から発想力を引き出した事にも感心した。私は宮古市でガールスカウト活動をしている。正月明けに集会場所としてお世話になっている公民館から声をかけられて世代間交流に参加した。地区に住む70代80代の女性10人が地域の子ども達50人程にみづき団子の由来とそれにまつわる宮古の風習を説明してくれた。

地域に住む先達の方々の持っている技能と知恵と経験をもっと子ども達に伝えて欲しいと強く思った。持続可能な社会という文言を耳にするが、身近なところにヒントはある。物を大切に繰り返し使ってきた丁寧な暮らし方は、人を慈しむ子育てにつながる。子ども達の健やかな成長は地域の大人達の願いでもある。地域のおじさん、おばさんの出番は沢山ある。

批判や評論をするのではなく、行動をおこそう。



(岩手県青少年育成県民会議理事)

青少年なやみ相談室

どうしていいかわからない。
困っているとき、苦しいとき、不安なとき。
思い切って電話してみませんか？
相談は無料です。秘密は固く守ります。



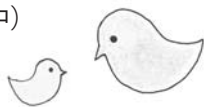
電話：019-606-1722

相談受付時間：9時～16時（アイーナ休館日を除く毎日）

※月曜日・木曜日は20時まで受付

メール：nayami@aiina.jp（24時間受付中）

面接：事前の予約が必要です



情報発信中

ホームページ

<http://www.aiina.jp/seishounen/nayami/>

相談室だより（gooブログ）

<http://blog.goo.ne.jp/ya-nandemo>



情報メディア「出前」講座

PTA関係者や保護者等からの要望に応じ、講師を派遣して、インターネットやスマートフォンを巡る青少年の現状への理解を深め、情報機器の正しく安全な利用が進むよう講座を開催します。



講演時間：30分から90分程度（質疑応答時間別）

テーマ：要望に応じて調整します

例）青少年が関わるネットトラブルと対策

ネットでのコミュニケーションの注意点

※ 派遣を希望する団体等は、講座開催希望日の1ヶ月前までにお申し込みください。

お問い合わせ・申込先（青少年活動交流センター）

Tel：019-606-1763 / Fax：019-606-1765

頑張る岩手の青少年を応援します



2016
希望郷

いわて国体

第71回国民体育大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。



2016
希望郷

いわて大会

第16回全国障害者スポーツ大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

